

業務用エレベスイングE V G D 取扱説明書

このたびは、エレベスイングEVGDをお買上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全上の注意

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危険や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は以下のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

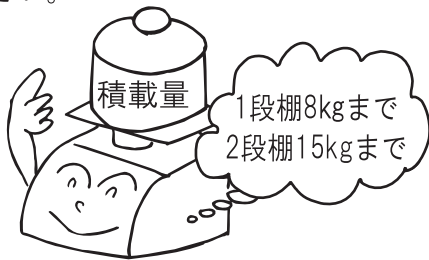
この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が表示されています。



注意

積載荷重（収納できる重さ）は、
下記の範囲以内でお使いください。

- 1 段棚タイプ 8kg以内
 - 2 段棚タイプ 15kg以内
（上棚7kg、下棚8kg以内）
- また、急激な出し入れは
しないでください。



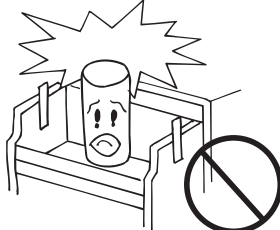
初期状態では操作補助力の設定が
” 少ない ” になっております。荷物の量
に応じて必ず補助力調整をしてくだ
さい。補助力調整をしないと収納ラックが
いきおいよく動きケガをする恐れがあり
ます。
収納ラックは必ず両手で持ちゆっくりと
操作してください。
また、動作の途中では絶対に手を放さな

- 出し入れが重くなったり、故障の
原因になります。

ビンなどの不安定なものや、
包丁・薬品などの危険なも
のを収納しないでください。

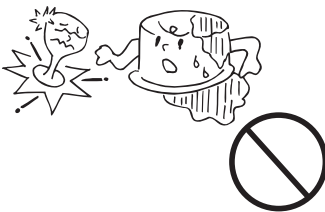


収納物が高さガイドより
上へ出たり、底面・背面の
すきまよりズレださないよ
うにしてください。



- 破損・落下や事故の原因に
なります。

割れやすい食器や、ぬれた
もの、すべりやすいものを
収納しないでください。



取っ手にぶらさがらないで
ください。

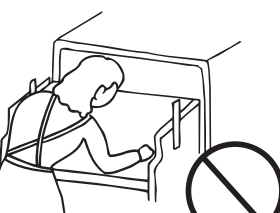


- 危険であり、故障の原因にな
ります。

調理作業時などは、収納ラッ
クを降ろしたまま放置しない
でください。



収納ラックを下げた状態で
ラックの上部からのぞき込
んだり、手を入れたりしな
いでください。



- 頭などをぶつける恐れがあります。

- 手や指、頭をはさんで大ケガを
する恐れがあります。

使い方

操作方法〔図1〕

両手で取っ手(または補助取っ手)を持ち、収納ラックをゆっく
り手前に引き降ろします。①の位置で「カチッ」という音と
ともにロックがかかり収納ラックが上がらなくなります。



注意

ロックがかかった状態では、絶対に収納ラックを押し上げな
いください。ロックが破壊する恐れがあります。



注意

収納ラックは必ず両手で取っ手（または補助取っ手）を持
ち、ゆっくりと操作してください。また、動作の途中では絶
対に手を放さないでください。

収納ラックを上げる際は、②の位置（『カチッ』という音がする
位置）まで収納ラックを下げ、ロックを解除してください。ロ
ック解除後、ゆっくり収納ラックを上げてください。

安全ガードの使い方〔図2〕

安全ガードは、収納物が前に落ちないように設けてあります。
上に持ち上げ、前にたおすと収納物が出し入れしやすくなり
ます。



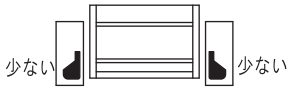
注意

操作時は必ず元に戻してください。
戻さないと安全ガードが破損する恐れがあります。

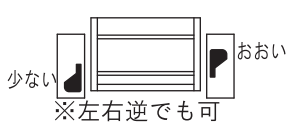
操作補助力の調整方法〔図3〕

収納量に応じて補助力の調整を行なってください。
補助力は3段階の切り替えが出来ますので、収納量に応じて適切
な設定でお使いください。

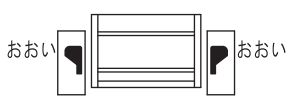
〔収納量が0～5kgのとき〕
” 少ない ” に合わせてください。



〔収納量が6～10kgのとき〕
片側のレバーを” 少ない ” に、
他方のレバーを” おおい ” に合わせて
ください。



〔収納量が11～15kgのとき〕
両側のレバーを” おおい ” に合わせて
ください。

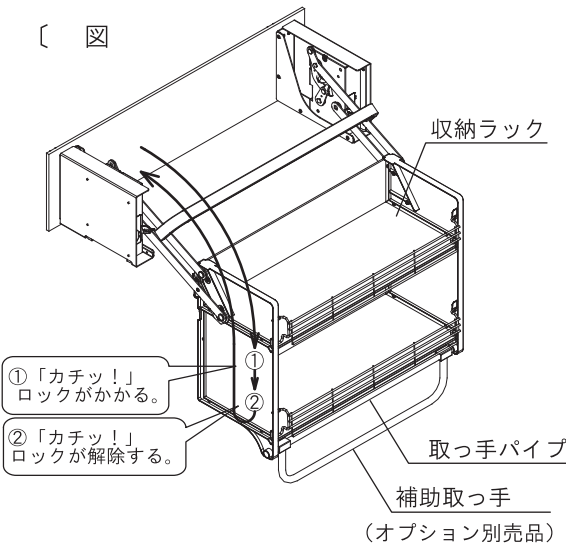


注意

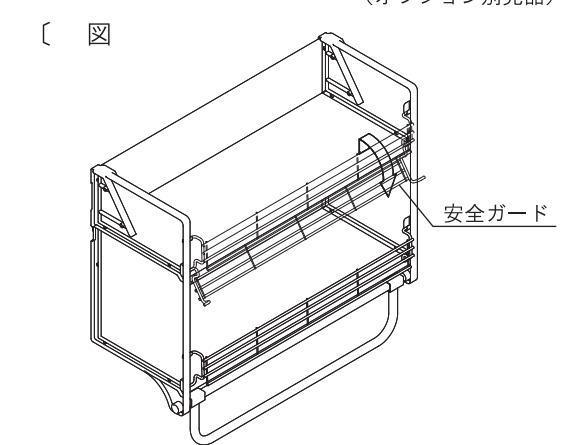
両側のレバーが” 少ない ” の位置にあるときは、10kg以上
の収納物を載せないでください。
収納ラックがいきおいよく下降し、ケガをしたり、機器が破
損する恐れがあります。

1 段棚タイプの場合は両方のレバーを少ないの位置で使用してください。
収納物を入れた状態で上げる操作が重く感じた場合は、片側の調整レバーを多いの方向に上げてください。

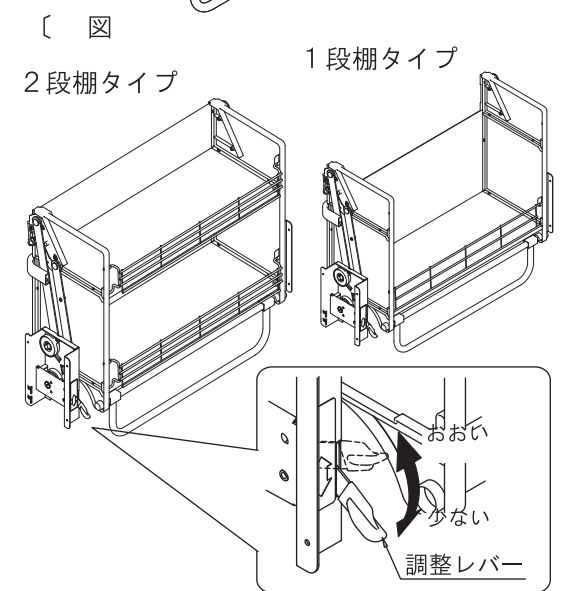
〔 図 1 〕



〔 図 2 〕



〔 図 3 〕



お手入れ方法

- 日常のお手入れは、フキンでからぶきしてください。それでも落ちない汚れは、中性洗剤をつけてふいてください。その後、からぶきして水気をふきとってください。